Kajiki Times
かじきタイムズ

大阪府議会議員
加治木 一彦（かじき かずひこ）
〒532-0012 大阪市淀川区木川東 4-5-1-203
TEL：06-4805-0450
FAX：06-4805-0452
http://www.kajiki-k.jp

日本語指導の必要な児童・生徒 個別支援の充実を
進学フェア 会場変更で運営を改善

―加治木府議の2月定例会の質疑・質問より

▲教育常任委員会で質疑する加治木府議

加治木一彦府議は3月13日の大阪府議会教育常任委員会で、日本語指導が必要な児童生徒向けの事業や府内公立高校が一堂に会する進学フェアなどについて質疑・質問をしました。概要は以下の通りです。

家庭の事情などで日本にやってきたものの、授業を理解できるだけの日本語力がない小中学生に国の費用補助を受け、通訳を派遣する事業があります。今年度は7市34人の子どもが対象となりました。来日当初、日本語が満足に使えなかった子どもがひらがな、カタカナ、漢字を使った文章を書こうとするレベルに達する例もあったそうです。

府立高校生に対しては非常勤講師を配置し、34校219人の生徒に個別の学習指導などをしています。生徒一人一人の事情に合わせた進路指導を充実するよう求めました。

毎年夏、府内の公立高校が集まって開く進学フェアは1万5000人ほどの参加者があります。昨夏に私が訪れた時は入場制限をするなど会場が大混雑していたため、昨秋の教育常任委員会で改善すべきだと指摘しました。

今年は収容能力の大きいインテックス大阪に会場を移し、各校のブースも広げ、個別相談の場所を確保します。

このほか、私立高校の授業料無償化制度、新学習指導要領に向けた取り組み、大阪府立大学と大阪市立大学の統合などについて質疑・質問をしました。この日の様子は大阪府議会ホームページの動画配信でご覧いただけます。

大阪府議会ホームページ ▶

活動日誌より

1月/2月 31,1 岡山県、島根県

岡山県は県庁職員が昼休みの時間帯に県内企業の開発した食品や飲料について試食・試飲をし、味や販売価格などについてのアンケートに答えています。平成28年9月には全国知事会の「先進政策大賞」を受賞しました。お金をかけずにできる点や、他の都道府県も取り組みやすそうだという点が評価されたそうです。

岡山市は「すべての市民が健康で自分らしく生きられるまち」を目指し、15年度より「健康市民おかやま21」という取り組みを進めています。企業や団体、個人が自ら決めた健康づくりの目標を示す「推進宣言」は27年度末で全市民の20人に1人に相当する3万5432人が登録しています。

島根県は17年度より学校・家庭・地域が連携し「ふるさと教育」に取り組んでいます。↗県が独自に編集した道徳の資料は小学校中学年から中学生向けの3種類があります。県内各地の偉人や歴史を丁寧に掘り起こし、次世代に語り継ぐことが目的です。「産業振興も大事だが、人を育てないと島根県は生き残れない」との切実な思いが伝わってきました。

2月 9 大阪市住吉区

大阪府教育センターにある不登校の生徒を受け入れる教室には大学生・院生のボランティアも入り、生徒が在籍している高校への復学を手助けしています。近隣の幼稚園で影絵を上演する取り組みは相手先の園児だけでなく、生徒にも好評で、自信を取り戻すきっかけになっています。幼稚園教諭がセンターでの研修の一環で作成した大型紙芝居の一部は東日本大震災で被災した宮城県石巻市の幼稚園に寄贈したそうです。

2月 16 大阪市西淀川区

外国にルーツのある小中学生向けの学習支援活動をしている「きらきら」は昨年1月から毎週1回、地域の会館を使って実施しています。ボランティアスタッフが子どもたちのレベルに合った教材選びもしています。日本語の学習支援が必要な小中学生は年々増え続けており、学校の取り組みと合わせ、子どもたちをしっかり応援できる仕組みが必要です。

3月 26 大阪市中央区

関西にある外国公館が主催し、北野、四条畷、住吉、三国ヶ丘の4府立高校と関西学院千里国際高校、神戸市立葺合高校、同志社大学ビジネススクールの生徒や学生が「グローバル社会のなかでの『地域』と企業ー『機嫌よう働く』を考える」をテーマに英語で研究発表をしました。夢を持つことや笑いを取り入れること、ロボットを活用してゆとりある生活をすることなど、大阪府議会の本会議場を舞台に自分たちの考えを披露してくれました。各国総領事らも強く関心を持ったようで、高校生に交じって議論していました。

お知らせ▶ 「大阪府議会議員 かじき一彦」 Facebookページにて、議員活動の情報発信をしております。当該ページに「いいね!」を押していただき、ぜひご覧ください。